

記者発表資料



国道246号 山北バイパス(向原地区)開通 ～開通1ヶ月後の交通状況を お知らせします。～

山北バイパス(向原地区)が、平成24年12月20日(木)に開通しました。

開通1ヶ月後の交通状況の変化や地域の皆様からの声をお知らせします。

①現道(国道246号)の交通が山北バイパスに転換

- 山北バイパス(向原地区)の交通量は17,270台/日、現道(国道246号)は3,390台/日です。
- 現道(国道246号)を通過していた大型車は、7,760台/日から260台/日に減少し、全大型車7,590台/日のうち、7,330台/日(97%)が山北バイパス(向原地区)に転換しました。

②向原交差点での渋滞が解消

- 山北バイパス(向原地区)に交通が転換することで、現道(国道246号)の向原交差点を先頭とし最大220m発生していた渋滞が解消されました。

③地域の皆様からの声

- バイパスが整備されたことで、安全な歩行空間や走行空間が確保されました。



位置図

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所

副所長 まつやま たかお
松山 隆雄

電話 045-311-2981 (代表)

調査課長 こさわ ともゆき
小澤 知幸

山北バイパス(向原地区)開通に伴う交通状況の変化

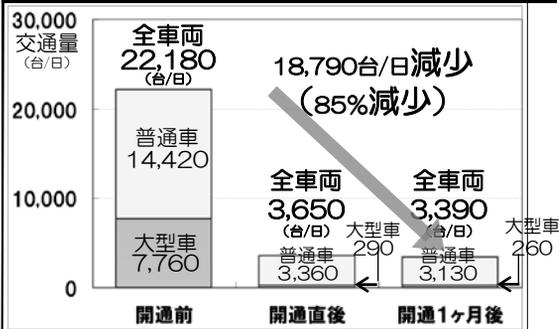
国道246号向原地区は、幅員も狭小で、道路の線形も悪い状態でした。また、歩道も未整備であり、歩行者の通行に支障をきたしていましたが、山北バイパス(向原地区)の開通に伴い、現道の交通量はバイパスに転換するとともに、現道の渋滞が解消しました。

①現道(国道246号)の交通が山北バイパス(向原地区)に転換(供用1ヶ月後)

- 山北バイパス(向原地区)の交通量は17,270台/日、現道(国道246号)は3,390台/日です。
- 現道(国道246号)を通過していた大型車は、7,760台/日から260台/日に減少し、全大型車7,590台/日のうち、7,330台/日(97%)が山北バイパス(向原地区)に転換しました。

■現道(国道246号)と山北バイパス(向原地区)の交通量

■現道(国道246号)の交通量



写真①：開通前の現道の様子



平成24年6月29日7時頃撮影

写真②：開通1ヶ月後の現道の様子



平成25年1月24日7時頃撮影

位置図



凡例	
	高速道路
	国道
	県道
	町道
	JR

■山北バイパス(向原地区)の交通量



写真③：開通1ヶ月後のバイパスの様子



平成25年1月24日7時頃撮影

- 調査日・開通前 : 平成24年 6月28日(木) 7時~29日(金) 7時(24時間)
- ・開通後 : 平成24年12月20日(木) 16時~21日(金) 16時(24時間)
- ・開通1ヶ月後 : 平成25年 1月24日(木) 7時~25日(金) 7時(24時間)

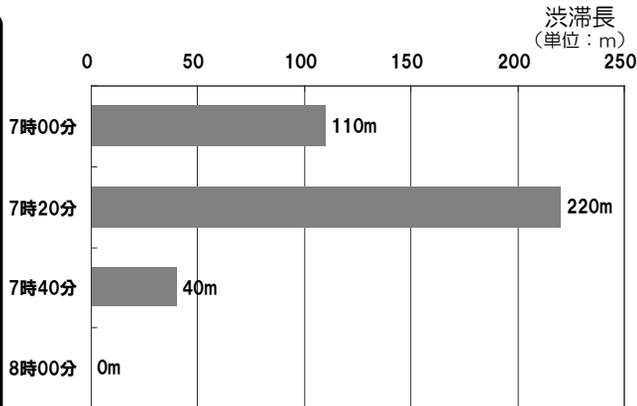
※交通量は10台単位で四捨五入した値

②現道(国道246号:向原交差点)の渋滞が解消

- 山北バイパス(向原地区)の開通に伴う交通量の転換により、現道(国道246号:向原交差点)の下り方向で、朝の通勤時に最大220m発生していた渋滞は解消し、交通が円滑になりました。

■現道(国道246号:向原交差点)の渋滞の緩和(下り方向・朝通勤時)

平成24年6月28日
開通前

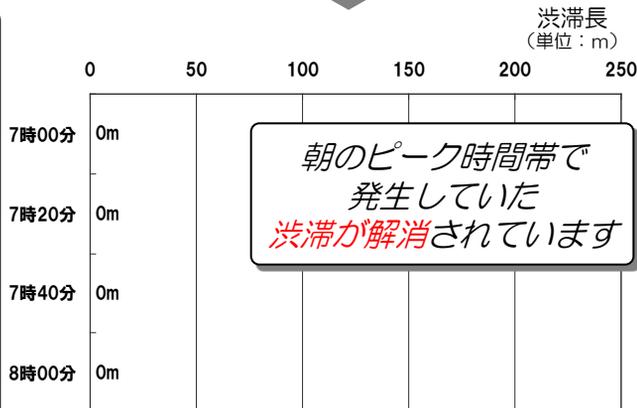


写真①:開通前の渋滞の様子



平成24年6月28日7時頃撮影

平成25年1月24日
開通1ヶ月後



写真②:開通1ヶ月後の渋滞の様子



平成25年1月24日7時頃撮影

位置図



向原交差点の渋滞状況

国道246号向原交差点で発生していた渋滞は、開通に伴い緩和。



- ← 開通前の最大渋滞長
- ← 開通1ヶ月後の最大渋滞長

- 調査日・開通前 : 平成24年6月28日(木)朝7時~8時
- ・開通1ヶ月後 : 平成25年1月24日(木)朝7時~8時
- ※「渋滞長」とは、1回の青信号で捌ききれずに車列が残った長さです。

③地域の皆様からの声

■地域住民からの声

大型車が通らなくなったので、現道の道路脇を歩いていても危険と感じなくなりました。歩くにしても車にしても(家から現道に)出やすくなりました。



地域住民

開通前の現道の様子
(平成24年6月28日11時頃撮影)



開通後の現道の様子
(平成25年1月24日17時頃撮影)



■バス事業者からの声

(今までは)バス停で停車する際に、後ろの車両を待たせてしまっていたが、(現道の)交通量が少なくなったので、運転手の精神的な負担が軽くなりました。



富士急湘南バス(株)

開通前の現道の様子
(平成24年6月28日10時頃撮影)



開通後の現道の様子
(平成25年1月24日10時頃撮影)



■消防署からの声

(現道の)幅員が狭かったため、緊急走行時の追い抜き時に支障をきたしていたが、(バイパスに交通が転換し、)解消されました。



足柄消防組合消防署
山北分遣所

開通前の現道の様子
(平成24年6月28日10時頃撮影)



開通後のバイパスの様子
(平成24年12月21日9時頃撮影)



■運送事業者からの声

渋滞が解消して、荷物の到着がほぼ定刻通りとなりました。
また、(現道から)トラックの入出庫が安全にできるようになりました。



ヤマト運輸(株)
足柄山北センター

開通前の現道の様子
(平成24年6月28日14時頃撮影)



開通後の現道の様子
(平成25年1月25日7時頃撮影)



山北バイパス(向原地区) 事業概要

〇概要

国道246号は、東京都千代田区から神奈川県内の内陸部を横断し、静岡県沼津市に至る延長約120kmの主要幹線道路です。

山北バイパス(向原地区)は、狭小幅員区間及び線形不良区間の解消を目的とした延長1.0kmのバイパス事業です。

